

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	030301010	予算コード	01023000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A	
事務事業名	家庭児童相談室運営事業			正規職員数	1 国庫支出金	15	有効性	児童虐待を見守るネットワークである泉佐野市要保護児童対策地域協議会の充実を図るため、その専門部会として平成26年度周産期支援部会、平成27年度教育支援部会の設置に取り組んできた。平成29年度には国のモデル事業「大阪府産前産後母子支援事業」へ参加し、妊産婦への対応などの課題にも引き続き取り組んでいく必要がある。	B	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数	2 府支出金	15	効率性			B
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0 市債	0				
	■法律・政令・省令			歳出(千円)	0 その他	0	妥当性			C
	児童福祉法 児童虐待防止等に関する法律			人件費総額	16,957 一般財源	21,525	減価償却費			0
					事業費	4,598	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	21,555		緊急性	事務事業実施内容		
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	214			A	児童に対するいじめや虐待等の防止及び保護や生活指導に努めることができた。 児童虐待の未然防止、早期発見に繋がるよう要保護児童対策地域協議会の関係機関の連携強化に努めた。	
対象	活動指標			H29実績		公的関与	B			
特定の市民	対象数	6632		相談日数	244.0		実施主体・委託化	B		
子育てに不安を抱えている家庭等	相談件数			6,632.0						
事業の内容	子どもフリーダイヤル開設日数			244.0		他の事務事業との関連	A			
福祉事務所内において、フリーダイヤルを設置し、電話相談或いは面接等により児童虐待相談、保健相談、育成相談など児童に関する相談受付を行っている。 子どもの見守りのネットワークの調整機関として泉佐野市要保護児童対策協議会との連携を図り、児童虐待の防止・相談を行う。	子どもフリーダイヤル受付数			61.0						
	成果指標			H29実績		透明性	B			
	岸和田子ども家庭センターの相談件数			486.0		財政健全化計画	該当なし			
	相談件数(市)			6,632.0						
	子どもフリーダイヤル受付数			61.0		財政健全化の取組	該当なし			
	コスト指標			H29実績		改革改善プラン達成度	該当なし			
事業の目的	相談1件あたりの事業費			3,250.0						
児童に対するいじめや虐待等の防止及び保護を目的とし、生活指導を行う。										